

指導のポイント

- 各教科にはそれぞれの目標と内容があり、それらの特質を踏まえ道徳の時間の指導と関連する部分を明らかにすることが大切です。各教科に含まれる道徳的価値を意識しながら指導することにより、道徳教育の効果を一層高めることができます。

具体的事例

各教科等の指導を通じて生徒の道徳性を養う視点

(1) 道徳教育と各教科等の目標、内容及び教材とのかかわり



各教科等の目標や内容には、生徒の道徳性の育成に関係の深い事柄が直接、間接的に含まれています。それぞれの特質に応じて道徳教育にかかわる側面を明確にする必要があります。

(2) 学習活動や学習態度への配慮



生徒が学習に興味・関心をもち、主体的に取り組む工夫をしたり、相互に学び合う思いやりのある協力的な雰囲気や人間関係をつくるよう配慮したりします。各教科の学習効果を高めるとともに、望ましい道徳性を育てることにつながります。

(3) 教師の態度や行動による感化



教師の用いる言葉や生徒への接し方などは、生徒の道徳性が育つよりよい学級の雰囲気や環境をつくります。授業内容の指導に力を入れると同時に、一人一人の生徒を理解しながら、道徳の目標や内容に示されている精神を自らが授業の中で実践するよう心がけることが大切です。

各教科・総合的な学習の時間・特別活動における指導

○ 国語科

- ・物語文の学習
(人間愛・思いやり)
- ・言葉の学習 (伝統と文化)



など

思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにすることは、道徳的心情や道徳的実践力を養う基本になります。

○ 社会科

- ・郷土の学習 (郷土愛)
- ・歴史や政治の働き (愛国心)
- ・世界の中の日本の役割
(国際理解)

など

公民的資質の基礎を養うことは、主として集団や社会とのかかわりに関する内容などと密接なかかわりを持ちます。

○ 数学科

- ・式の計算 (秩序と規律)
- ・確率 (生命尊重・畏敬の念)

など

事象を数理的に考察し筋道を立てて考え、表現する能力を高めることは、道徳的判断力の育成につながります。

○ 理科

- ・自然の事物、現象を調べる活動
(生命尊重・畏敬の念)
- ・観察や実験 (自然愛)

など



生物相互の関係や自然界のつり合いについて考えさせ、自然と人間のかかわりを認識させることは、生命尊重と自然環境の保全に寄与する態度の育成につながります。

○ 音楽科

- ・合唱 (向上心・役割と責任)
- ・鑑賞 (伝統と文化)
- ・共通教材 (愛国心)

など

音楽の共通教材は、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの、文化や日本語のもつ美しさを味わえるものなどを含んでおり、道徳的心情の育成につながります。

○ 美術科

- ・鑑賞 (寛容・個性尊重)
- ・自然物のスケッチ (自然愛)

など

創造する喜びを味わうようにすることは、美しいものや崇高なものを尊重する心につながります。

○ 保健体育科

- ・ チームワークを重視した学習
(友情・集団生活の向上)
- ・ 健康、安全についての学習
(望ましい生活習慣・秩序と規律)

など

集団でのゲームなど運動することを通して、粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力する、といった態度を養うことができます。

○ 技術・家庭科

- ・ パソコン操作 (勤労の尊さ)
- ・ 衣服のはたらき (礼儀)
- ・ 住まいと住み方 (家族愛)

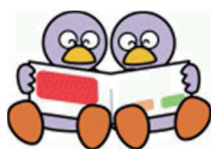
など

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得することは、望ましい生活習慣を身に付けるとともに、勤労の尊さや意義を理解することにつながります。

○ 外国語科

- ・ 外国語コミュニケーション
(国際理解)

など



外国語を通じて、我が国や外国の言語や文化に対する理解を深めることは、世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献することにつながります。

○ 総合的な学習の時間

- ・ 異文化理解の学習
(国際理解)
- ・ 職場体験学習 (勤労)
- ・ 進路学習 (個性伸長)
- ・ 自然環境 (生命尊重)
- ・ 福祉、健康 (思いやり)

など



生徒が、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、現代社会の課題などに取り組むことで、自己の生き方を考えることにつながります。

また、主体的に判断して学習活動を進めたり、粘り強く考え解決しようとしたりする資質や能力、自己の目標を実現しようとしたり、他者と協調して生活しようとしたりする態度を育てることにもつながります。

○ 特別活動

- ・ 文化祭や体育祭
(愛校心)
- ・ 生徒総会
(集団生活の向上)
- ・ あいさつ運動
(礼儀)
- ・ ボランティア活動
(思いやり・奉仕)

など

特別活動における学級や学校生活における望ましい集団活動や体験的な活動は、日常生活における道徳的実践の指導をする重要な機会と場になります。節度ある生活をしようとする態度、役割や責任を果たそうとする態度、よりよい人間関係を築こうとする態度、自分たちで約束をつくって守ろうとする態度、諸問題を解決しようとする態度、自己のよさや可能性に自信をもち集団活動を行おうとする態度などは、集団活動を通して身に付けたい道徳性です。